

[III-8-17] 口演

薬物療法（SGLT2阻害薬16）

2018年5月26日(土) 14:00-15:00 第8会場/東京国際フォーラム1F ホールD1 第8会場

座長：河村 孝彦 / 中部ろうさい病院糖尿病内分泌内科

III-8-17
体成分分析を用いたSGLT2阻害薬の夏期使用の検討

筆頭著者：横田 一樹
よこた内科クリニック

共著者：平井 千裕、角 恵美、土谷 彩織、木内 真衣子、田沼 真由美、横田 昭子
よこた内科クリニック

【目的】

SGLT2阻害薬の夏期における使用の有効性と安全性を評価することを目的とした。

【方法】

当院にてSGLT2阻害薬を使用した29例（男性21例，女性8例，平均年齢56歳）を対象とした。2017年7月から9月の体成分分析装置（以下In Body）で測定される体脂肪量，筋肉量，体内水分量の変化などを検討した。

【結果】

期間内においては有害事象は認めなかった。HbA1c，体重，BMIは段階的に有意な低下を認めた。さらに体成分分析では体脂肪量，筋肉量ともに有意な低下を認めた。また細胞外水分量優位に体水分量の有意な低下を認めた。

【結語】

SGLT2阻害薬は夏期においても安全性・有効性ともに非常に優れた薬剤であった。しかしサルコペニアや細胞外脱水などを未然に防ぐためには，きめ細かい管理が必要である。